

# きたがわ荘便り



令和元年9月30日  
特養きたがわ荘 発行

8・9月号

## ●敬老の日を機に思う事

今年もきたがわ荘では、盛大に「敬老の日」の行事が行われ、沢山の方々にお祝いして頂きました。敬老の日を機に思う事、それは来賓の方々からの祝辞の中にもありましたが、今から三十年前は百歳以上が全国で三千三百人でしたが、今年は七万人を超えたとの事。今、六十代の人が百歳まで過ごせる確率は二十%で五人に一人は百歳まで生きるとの事です。

その反面ニュースでは、年金や老後の貯蓄等老後、安定した暮らしの指標が話題になっています。しかし、問題なく安心した生活ができるようになればと、願うばかりです。

今、特養を利用されている方々は、若い頃は休みなく働き、食事も質素なものでした。大家族の中で色々な苦労もされた事でしょう。激動の時代を乗り越えられた方々ばかり、人生の大先輩です。これからはゆっくりしていただき、職員も、安心して過ごしていただけるように、努力していきたいと思う今日このごろです。

## ●行事の様子

### 『夕涼み会』

八月三日(土)に夕涼み会を行いました。オープニングは、職員扮する琴恵光の土俵入り。その後は、くまた保育園のやまびこ太鼓。そのかわいさと一生懸命さに感動し、目頭が熱くなりわが孫を見ている気分になりました。フラダンスは「アカハイ北川」の皆さん

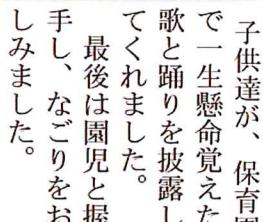
が、夏らしい曲で踊っていました。お祝いしました。

ご家族と、飲食を共にしながら過ごした時間は、短いひとときでたしが、楽しいものとなりました。



### 『長井保育所慰問』

子供達が、保育園で一生懸命覚えた歌と踊りを披露してくれました。



今年の敬老会は、九月十四日(土)に行われました。最初は、ご来賓の方々より、祝辞をいただきました。その後、今回百歳をむかえる方が表彰を受け、続いて八十八歳の方の表彰でした。

アトラクションは「千鳥会」による踊りや歌で盛り上がりました。なつかしい「ざざんかの宿」などには、ご家族や利用者さんに喜んでいただきました。出しお物では、グレープホームは「ふるさと」、特養は「かえり舟」を皆さんで熱唱しました。そしてお昼は赤飯入りのお弁当と紅白万十がついて、お腹も心も一杯になりました。

『ドライブ』お天気の良い日にイオン延岡店までドライブ。マクドのシェイクとポテトを食べました。

台風十七号での巻きでは、きたがわ荘は特に問題はありませんでしたが、被災された方々や、ご親族にいたという話を聞き、心からお見舞い申し上げます。

先月号でも書きましたが、きたがわ荘でも、台風の情報が入ると、停電等に備えて気を使います。また、浸水の危険や崖崩れの恐れのある方々の「緊急ショート」(介護度のある方)も受け入れてีいるので、いつも緊張が走る台風時です。

## ●編集を終えて

● 様 担 当 より

## 『特殊浴槽入替』

入浴は、一般浴と特浴があります。特殊浴槽は寝たままの状態で体を洗って、ゆっくり浴槽に浸かる事ができます。今回、新型の浴槽と入替となり、清潔はもちろんですが、気持ちよく入浴していただきたいと思います。

